赤穂生の風景（校長ブログ）

グランドを守る桜と仙丈ヶ岳

前回に続き校内の桜をご紹介します。

グランド脇に育つ桜は、左側の枝が数年前に校内通路の安全確保のために剪定されたと、永年勤務されている先生から伺いました。その先生は「さしずめ『ミロのヴィーナス』だ。」とおっしゃっておられました。国語科の先生です。

高校国語の定番教材である『ミロのヴィーナス』で筆者の清岡卓行氏は、両腕がないミロのヴィーナスについて「失われていること以上の美しさを生み出すことはできない」と述べ、「ほかならぬその欠落によって、逆に、可能なあらゆる手への可能性を奏でるのである」と締めくくっています。

剪定された左側の枝の切り口の先には、遠く仙丈ヶ岳の雄大な姿が見えています。

グランドを守ってくれるように佇む桜の左枝の美しさを想像するのも、また一興ありです。どのような枝ぶり、咲きぶりを想像することができるか。楽しみたいと思います。